

## 記入に関する詳細説明

### 1. 海外インターンシップの受入と寄付の関係

- (1) 学生支援を通じグローバル人材の育成を促進するため、多くの企業、団体や個人に「大学生海外インターンシップ支援事業」への寄付を呼びかけ、ご協力をお願いしてまいります。
- (2) 企業に対しては海外インターンシップ受入の条件として寄付をお願いするものではありません。インターンシップの受入を行うかどうかにかかわらず、寄付していただくことができます。

### 2. 記入に当たっての注意事項

#### (1) 受入人数

各海外事業所において令和7年度に最大何人まで学生を受け入れられるかという観点でご記入ください。

#### (2) 体験業務、受入条件

今回の調査及び大学・短期大学を通じて行う学生の参加希望調査の結果を踏まえ、「信州産学官ひとづくりコンソーシアム ひとづくり交流デスク」がマッチングを行います。的確なマッチングが行えるよう、調査票の「体験業務」、「受入条件」欄は、具体的にご記入ください。

#### (3) ご担当者

マッチングの過程で「ひとづくり交流デスク」から各企業のご担当者様に受入の詳細について照会させていただくことがありますので、ご協力をお願い致します。また、「ひとづくり交流デスク」でマッチングを行った結果は、企業と大学・短期大学双方のご担当者様にご連絡しますので、両方で詳細な打合せ、条件のすり合わせ、協定の締結等を行った上で、海外インターンシップの実施を決定していただきます。

#### (4) 寄付希望額

寄付の希望をお持ちの企業におかれましては、「寄付希望額」の欄に金額をご記入ください。

**なお、事務処理の都合上、企業からの寄付は、下限額を5万円とさせていただきますので、ご理解をお願いいたします。**

### 3. 調査結果の活用

#### (1) 受入希望企業リストの作成

令和7年度参加希望学生を募るため、企業名及び調査票記載情報をリスト化し、県内大学及び短期大学に配布します。

#### (2) 寄付意思の確認

今回の調査で寄付を希望された企業に対しては、令和7年度当初に改めて寄付意思の確認をさせていただいた上で、寄付をお願いする予定であります。

以上